

平成 29(2017)年 5 月 23 日

平成 29 年 3 月 21 日のご診察の後何かと御教示いただきありがとうございます。今後につきましては下記のようにお願いいたしたく胸中の一端を書き留めました。何卒ご高配のほどよろしくお願い申し上げます。

記

- 1、別に特段の痛みは今のところ感じておりません。
- 2、体重は 54Kg 前後で一定、体温も 36℃前後で一定です。体調面では問題もなく普段の日常生活を送っています。20 分程度の近辺散歩も支障なくこなしています。
- 3、食事は退院に際して病院の栄養士に指導を受けたことを参考に、離乳食のような流動食です。(直近の朝・昼・夕の食事内容の写真を持参しました)。
- 4、食欲もあり毎度完食、便通は 2 日~3 日に、1 回、普通便です。排尿は日中 2~3 時間毎、就眠中は 2 回に、そして無色に近くなりました。
- 5、当分の間はこの経口摂食を続けようと思っています。
- 6、何が起っても自己責任を貫き通したいと思っています。
- 7、市中で如何なる事態が発生しようとも救急車の世話にならず自宅に戻る決意です。そのため緊急連絡先カードをたえず身に着けるようにしました。(写真を持参しました)。
- 8、入院したくありません。また積極的な、進取的な、施療を望みません。叶うことでしたら定期的にご診察くださり、検査を受けさせてくださるよう切にお願い申し上げます。
- 9、78 歳の誕生日も過ぎ、男性の平均年齢に近づいてきました。余生を静かに穏やかに過ごし、終末期を迎えたいと思います。もし出来ることなら、お看取り下さり死亡診断書をお書き下さればありがたく存じます。
- 10、老妻の負担も気になります。長女も仕事の合間に(在宅勤務)支援してくれていますがいつまでも甘えるわけにはいきません。要介護 2 と認定されましたのでケアマネジャーに居宅系サービスの方策を依頼しています。
- 11、7 項に関連しますが今後起こり得る一切の不測の事態は全て小生の責任であります。ここに書面にて決意を表明いたします。